



今回は千代崎町4丁目町内会の「こどもえんにち」をご紹介します！

8月16日(土)は、気持ちのいい晴れの日！「こどもえんにち」には、たくさん子どもたちが集まって、笑顔がいっぱいの一日になりました。千代崎四囃子連のにぎやかな演奏でお祭りムードが高まり、夕方からは盆踊りもスタート！最後までにぎやかで楽しい時間が続きました。

子どもたちの
ふるさと



子どもたちの
地域活動



外国人住民との
交流



活気があるまち



中学生が主役！地域みんなでつくる「こどもえんにち」

10年以上続くこのイベントは、コロナで一時的に中断していましたが、3年前に再スタート！

出店のスタッフは全て中学生。ジュニアリーダー制度のもと仲尾台中学校の協力でおこなわれています。今では、地域の子供と大人が力を合わせて笑顔あふれるえんにちを守り続けています。誰でも気軽に参加できるこの場は、子育て世代にとっても、地域の人と自然につながる貴重な交流の時間。昔ながらの下町のあたたかさを感じられる、そんな素敵なひとときでした。

千代崎町4丁目町内会 山本会長

「子どもたちが大人になっても、この時期にふらっと帰ってきたくなくなるような…“思い出の故郷”にしたいんです。中学生が地域で活躍できるよう、中学校と協力をして、みんなで街を盛り上げています。子どもたちの記憶に残る町づくり…他の地域でもこんな取り組みが広がったら嬉しいです。」



スタッフの森さん
(中学3年生)

「楽しいです！準備は大変ですが、最後の達成感があるから頑張れます」



編集後記(M・T)

緑日やお囃子では、大人と子どもが一緒になって力を合わせ、参加する人も運営する人も、みんなが楽しんでいる様子がとても印象的でした。インタビューの中では、山本会長が「子どもたちに楽しい思い出を残してあげたい」という気持ちを何度も語ってくださり、その深い愛情が伝わってきました。これからの担い手づくりの一歩として、中学校にも声をかけてみると、また新しい広がりが生まれるかもしれませんね。

Lale
バックナンバー
⇒⇒⇒

